

1. 本園の教育目標

- ・一人ひとりの子どもたちは、神の恵みのもとに、愛されて育ち、喜びを持って生きる。
- ・恵まれた自然の中で、あそびや様々な体験を通して、自分で考え自ら行動する力を育む。

2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

- ・豊かな自然環境の中で、心と体を活発に動かしあそびを充実させる。 ・自信をもって自分の思いを伝える。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価内容	評価	評価の理由や取り組み内容
安全管理・危機管理	B	危機管理マニュアルの見直しはできたが、職員間での共有が出来なかったため来年度は取り組む。遊具の安全点検を定期的を実施することが出来なかった。ただし、危険箇所を見つけた場合や脅迫メールへの対応など安全管理への共通認識は十分あった。
保護者との対応	A	職員間での情報共有や保護者へのアプローチを意識し取り組むことが出来た。今後は園長、主任だけでなくその他の職員との意見交換などにも取り組みたい。
特別支援教育	B	講師を招いての園内研修基礎編は、職員全体で実施出来た。保護者との話し合いの場を設けたり関係機関との連携もあり、良い方向に向かっていると思う。
環境構成と清掃	C	子どもがあそび込める環境の工夫が十分でなかった。興味関心を育むことが出来るよう玩具を入れ替えるなど、更に意識を高める必要がある。また室内外の清掃も不十分と感じる。

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価	理由
B	自己評価から見えてきた課題を次年度は、学期ごとに評価をして、課題克服に努めていく。

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
安全管理、危機管理	危険管理マニュアルの職員間での共有。遊具の定期点検の徹底、安全への意識向上
特別支援教育	講師を招いた園内研修を設定して実践に努めたい。 保護者や関係機関と連携し、子どもの特性に合った対応を深める。
環境構成と清掃	子どもがあそび込める環境構成を園内で話し合い、更に工夫する。室内外の清掃の徹底

6. 学校関係者評価委員会の評価

- ・保護者の感想から、職員が愛情を持って保育を行っていることが伝わる。園への信頼も深く、子どもたちを安心して通わせていることが伝わってくる。
- ・コロナ禍の行事については、政府の方針と園の方針を合わせて丁寧に伝えていくことで、保護者の理解を得ると良い。
- ・安全管理では、正門の電気錠の不具合について設置環境から見直すべきではないかと考える。
- ・特別支援が必要な幼児の環境設定において職員の評価が低いようだが、一人ひとりに寄り添い努力されていると思う。今後も関係機関との連携を密にして取り組むと良いと思う。
- ・子どもたちの豊かな保育環境を守るため、草刈りや畑の管理など園全体の環境整備については業者に依頼することを検討したほうが良い。

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員

委員会実施日

令和5年 3月2日